

「小中学生の携帯電話・スマートフォン等の適正な利用に向けて」の啓発運動及びいじめ根絶に向けての取組について(その1)

長久手市P連では、H26,27の2年間、スマートフォン等の適正な利用に向けての啓発運動を行ってきました。H28においては、その流れを受けつつ、いじめの問題と合わせた取組を行います。

小中学生の時期は、身体の成長とともに、心（情緒や思考力）の土台を育む大切な時期です。幼いときから我々親や教師がスマートフォン等の扱いを身近で教え、けじめをつけて利用させ、やがて自分自身で体や心を守る「自律心」を育てたいものです。自律心を育むためには、子どもたちに本物の自信を育む必要があります。

「本物の自信を育む」ことについて、各家庭に毎月配付されている「愛知のPTA」に何度も寄稿されている元愛知県教育員会生徒指導サポートコーディネーター山口カ先生にお話を伺いました。

デジタルな時代こそ、アナログの子育て

～アナログ、それはこころであり、ふれあいであり、温度なのです～

今、子どもたちを取り巻く環境は、デジタルや情報で溢れかえっています。デジタルや2次元、ゲームやスマホは非常に魅力的で、現代の子ども達はそれらにのめり込んでいるようでもあり、飲み込まれてしまっているようにさえ見えます。子ども達は一見、楽しそうに満たされているように見えますが、実は寂しさや孤独を感じている子が非常に多いように感じます。子どもたちは寂しさが強ければ強い程、そして‘日常’に居場所が無ければない程、2次元やデジタルの世界に入っていきます。何故なら、2次元やネット、デジタルな世界は非常に刺激が強く、寂しさや孤独、そして劣等感を忘れさせてくれるからです。

子育てには温度が必要です。温度とはふれあいを意味します。デジタルに温度はありません。ふれあい、温度こそが子ども達に安心と信頼を与え、本物の自信を育むことができるのです。

今、デジタルな時代だからこそ、アナログを意識した子育てが必要です。アナログ、それはこころであり、ふれあいであり、温度なのです。



元 愛知県教育員会 生徒指導サポートコーディネーター 山口 カ

スマホの問題やいじめの問題は、心の問題です。ぜひ、我々親や教師が子育てについて考えましょう。

子育てについて考える機会として、山口カ先生の講演会を企画しました。多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

子育て支援講演会 2/13(月) 14:45～15:45(受付14:30～)

演題「いじめの根源にあるもの-No.1、Only OneからALL Oneへ」

講師 山口カ先生(元愛知県教育員会義務教育課 生徒指導サポートコーディネーター)

場所 市役所 西庁舎3F 研修室 ※南中学校保健委員会と兼ねて行います。

講演会の参加申込については、1/24(火)に発行します「『小中学生の携帯電話・スマートフォン等の適正な利用に向けて』の啓発運動及びいじめ根絶に向けての取組について(その2)」でご案内します。

【問い合わせ先】 長久手市小中学校PTA連絡協議会事務局

長久手市立南中学校(教頭 大津) 電話 0561-62-9191